



株式会社菅原組

社内報

vol. 10

2020年7月号



工事本部 工事部
積算課 課長

藤本 昌彦



入社歴28年のベテラン社員である藤本さん。入社されてから現在に至るまで、順調とは言えない時もありました。これまで立ち上がった壁に、藤本さんはどのようにして立ち向かっていったのでしょうか？振り返ってお話いただきました。

入社のきっかけ

専門学校時代から机に向かって何かに取り組むということが好きではなかったため、現場で働きたいと思っていました。そのとき、学校の先生に菅原組を教えていただき、入社するきっかけとなりました。入社してから30年度まで工事施工管理を担当していました。

業務内容

昨年から積算課に異動になりました。今まで行ってきた現場での仕事とは異なり、現在は入札金額の見積もり作業などを行っています。外で働きたいと思っていても関わらず、机に向かう毎日です。上司から教えてもらったり、本を読んだりして積算の事を学んでいます。

一番心に残っている仕事

自慢できることではないのですが、行けと言われたらどこにでも行くというフットワークの軽さを大切にしてきました。例えば10年程前に2年間、静岡県に赴任していたことがあります。たまたま協力会社さんから施工管理の担当者に協力してほしいと言われたためです。仕事の内容は同じなのですが、北海道の現場とは管理の方法や指導方法など、何から何まで異なっていました。そのため、土地勘がない場所に馴染み、自然と対話することの難しさを体感しました。

失敗からの学び

20年以上現場で働いてきたのですが、自分で100点満点だと思える施工はひとつもありません。例えば、もう少し創意工夫があれば見栄えが良かったのではないかと。こうしていれば作業関係者が安全に工事を行えたのではないかと後悔することばかりです。反省するたびに次回こそは100点を目指そうと思っています。現在は事故をなくすために、特にチームワークを

今後の目標

意識しています。信頼関係の構築が事故を減らすことに繋がると 생각합니다。とにかく早く積算という業務を習得することです。

長年培ってきた「現場」での知識を活かし、公募時の技術提案をすることは少しかるようになったが、それ以外はまだまだだと感じています。上司の方々は、現場のプロ、積算のプロ、安全のプロなど様々な分野に強みを持っています。自分自身も誰にも負けない「強み」を磨き、〇〇なら藤本さんと言われるようにできるだけ多くの経験を積み、糧として成長していきます。



CHECK!

現場レポート

あんな現場やこんな現場、あなたの知らない現場や事例について
このページで紹介しちゃいます!



現場名 尻岸内増殖場造成工事(ゼロ国債)

着工日 令和2年3月25日

完成予定日 令和2年12月20日

メンバー

現場代理人

作業所長

こひら ともき
小平 智基さん
あずま あきひろ
東 昭浩さん



▲小平さん

工事の目的

この20年くらいで昆布の漁獲量が半減してきているため、マコンブの増産を対象とした増殖場の造成を目的とする工事を行っています。

アルガーリーフ(藻場礁)という着定基質(増殖対象生物にとって良好な餌料環境と好適な棲み場環境を形成するため石材や異形ブロックなどを餌料海藻類の着生基盤として設置するもの)を製作して沈設する工事です。

土台となるコンクリートを積み上げてブロックとし、その部品を約200個製作します。

部品はひし形のコンクリートを3枚並べ、4段に積み重ねて12個で1基の塊を作り海底に沈めます。

ブロックの天端に設けている多数の溝は、藻類着生面積の増加、幼体時期における食害の軽減、流れの変化で遊走子の沈着を促進します。

構造物内部は上部材や中部材の陰影効果により、幼稚仔魚の逃避場、アワビ・ナマコの生息場として相乗効果があります。



▲ブロック



社員の皆様へのメッセージ

事故無く安全第一に完工目指して頑張ります!



▲現場全景



◀働く男たち

作業に当たり気をつけたポイント

完成したブロックを損傷させないために緩衝材を挟めたり取り扱いには気を付けています。

現在協力会社を含め12名のメンバーで作業に当たっており、沈設するところまでいって12月20日までに完成する予定です。

目的である昆布の収穫まで数年の時間がかかるので、後々修正できないブロック製作はとても大切な工程になります。

CHECK!

現場レポート

2



▲清部漁港南防波堤 消波ブロック撤去状況

現場名 原口漁港外機能保全工事(補正)

着工日 令和2年3月31日

完成予定日 令和3年2月10日

メンバー

工事課長

新谷 裕治さん

都筑 隆一さん

竹内 優誠さん



作業に当たり気をつけたポイント

寸法が合わず、手戻りが起こることがないように、注意して行っています。かなり老朽化した港であるため、コンクリートの高さや幅がもとの図面と異なっている部分が多くありました。そのため、測定は慎重に行いました。

現在は計画に沿って作業を進めていく段階に入っています。また、日本海に面しているため、こまめな気象情報の確認も欠かせません。災害なども予測した上で安全に工事を進められるよう計画を立てています。



▲清部漁港西防波堤 既設コンクリート撤去取壊し状況

大変だった所

古くてぼろぼろになったコンクリートを取り壊してから、新しいコンクリートを打っていくのですが、一部従来のコンクリートが残っている部分もありました。従来のものを活かしながらも、違和感なく取り壊した部分を埋められるよう、寸法を測り直すことに苦労しました。

作業にあたっての感想

冬になると波が高くなり、作業ができなくなるため、できるだけ速やかに作業を進めなければならないと思っています。元来のスケジュールは余裕を持って考えられているため、滞りなく実行すれば、年内には完成させられるだろうと職員一同、意気込んでいます。



▲新谷さん、竹内さん、都筑さん(横山興業(株))

意気込み

若手にとって少しでも学びのある現場になればと思っています。共に作業にあっているメンバーの1人が、これから現場を率いていこうと期待されている若手です。今回の現場で学んだことが、今後の糧になってほしいと思っています。

部所 紹介

《第七すがわら号船団》

それぞれの部門で個性を発揮する仲間たち。そこではどんな業務が行われているの？ 自慢できるところは？ 知っているようで知らない、みなさんの職場の様子を探ってみましょう！

船団長

ふくはら あきみつ
福原昭光さんに
聞きました！

船団長 福原さん ▶



メンバー

船団長
すがわら丸船長
OP、甲板員
乗組員

ふくはら うじい 氏家	あきみつ たかひこ 昭彦
おさき ひがし 尾崎	たかのぶ こうじ 貴信
ささき まさとし 東出	こうじ まさとし 光治
きむら やすひろ 佐々木	やすひろ まさとし 優利
きむら やすひろ 木村	やすひろ まさとし 靖宏

主な業務

主な業務は海上クレーン作業ですが、今は防潮堤で水門基礎を行っています。水深が12メートルの海底に杭を打ち、そこに水門をつけます。昨年は6か月ほどかけて高さ20メートル、幅30メートルの水門を施工しました。これは日本初の海底措置型フラップゲート式水門です。



▲第七すがわら号



▲鋼管杭打設状況



▲尾崎さん



▲氏家さん

部所の自慢

×メンバーの一致団結した雰囲気自慢です。1つの船に乗って仕事をするため、コミュニケーションが頻繁に行われているゆえだと思います。毎日の朝礼で、それぞれが意見を言い合うだけでなく、仕事終わりにご飯を食べに行くこともあります。安全第一で工事を進めるためにどうすればいいかという議論から、子育てのアドバイスまで幅広い話題が出てきます。



部所の取り組み

力を入れているのは教育面です。失敗したとき、不要に時間がかかってしまったときの原因の1つが、作業に慣れていないことです。その原因が判明してから、先輩やベテランが教育の仕方を工夫するようになりました。年齢が離れている後輩とは価値観が大きく異なることを認め、自分たちの価値観を押し付けないようにしています。例えば、自分の教えたやり方通りにできなかった後輩がいても怒らないようにして、彼のやり方も受け入れながら教育しています。そうすることで後輩が萎縮することなく、当事者意識を持って働いてくれると考えています。

やりがい

東北で防潮堤の工事をした際に漁師さんから声をかけてもらったことです。彼らは地震による津波の影響を受けています。工事の後、彼らから感謝の言葉をかけてもらったのですが、私たちが防潮堤をかさ上げすることによって、彼らが抱えている不安や恐怖を少しでも拭うことができたのかもしれないとやりがいを感じました。



▲細浦

皆さんへメッセージ

これからは暑くなりますので、コロナ対策に加え、こまめに水分補給を行ってください。これからも安全第一で仕事を頑張っていきましょう。

こんな活動、知ってた!?! 社会貢献活動レポート

★ 南かやべ森と海の会 栗の木公園草刈り事業

日時 2020年6月20日(土) 9:00~12:00
参加人数 菅原組より
 社長、小林部長、菅原営業部長、東課長、小平係長、
 児玉さん、小笠原さん、村越さん、米内さん、三浦さん
 南かやべ森と海の会 会員の皆様 12名
場所 昆布の森づくり栗の木公園(豊崎町)

当日の流れ

栗の木公園内の草刈りと、150本もある栗の木の枝打ちを行いました。
 草刈りはエンジン付き草刈り機で、枝打ちは鉋や鋸を用いました。
 作業終了後には南茅部河川公園へ移動し、用意していただいた昼食
 を参加者全員で食べました。お昼のメニューは、町内の飲食店「よし
 川」のボリューム満点のカツ丼、ワカメの味噌汁、バナナです。作業の
 疲れも吹き飛ばす美味しさでした♪



▲隅々まで綺麗にします。

▲美味しいお昼ごはん!
疲れもどこかへ...

活動を終えての感想

今年は新入社員の村越さんと米内さんが参加してくれました。草刈り機を使うのが初めてでも上手に使いこなし、一年間で生い茂った雑草もきれいに刈り取ってくれました。次の日には筋肉痛になり、大変な作業ではありましたが、自然豊かな場所での活動は気持ちがよく、リフレッシュ出来ました!次回もまた参加したいと思います。



▲記念に一枚!

今後に向けて

「南かやべ森と海の会」には平成27年より参加し、今回で草刈り活動に参加するのは5回目となります。秋には植樹活動もありますので、みなさんぜひご参加下さい!このような活動は、SUGAWARA環境計画にもある社会貢献(サンサン運動)で掲げている「森と海に橋をかけるプロジェクト(森づくり活動)」の一環です。森林の整備と植樹活動などを続けることで、森の環境が改善され、海の環境も良くなることに繋がります。
地域の方々と連携しながら、未来の森と海を守っていきましょう!



こんな活動、知ってた!?! 社会貢献活動レポート

日時 2020年6月14日(日) 8:00~9:00
参加メンバー 社内から従業員と家族、総勢11人が参加
場所 北浜町会内
当日の流れ

朝8時に北浜町会館に集合し、3班に分かれて1時間程度清掃しました。

活動を終えての感想

今年度の清掃美化活動は、コロナ禍で4月と5月が中止になっており今回が初めての開催となりました。当社従業員と子供達が参加した班は、会社周辺の地域を清掃して回りました。今年初めての清掃ということもあり、リヤカーがゴミでいっぱいになるほどでした。天気にも恵まれ汗ばむ陽気で、終了後には町会から参加者にアイスがふるまわれ、楽しくにぎやかな清掃活動になりました。

町会の方々からは「いつもたくさんの参加ありがとうございます」「またよろしくお願いします」と声をかけていただきました。参加できない月もありますが、いつも誰かが地域のために清掃活動をしてきているから、街がキレイに保たれているのだと思いました。

★北浜町会清掃美化活動

管理本部 経理課長 叶野 修さんに聞きました!



今後に向けて

次回は7月12日(日) 8:00~9:00に参加します。※小雨決行です。日曜日の朝に清掃活動をするのも気持ちがいいものです。皆さんもご家族お誘いあわせの上、どうぞご参加下さい。もちろん住んでいる町会の清掃活動にご参加されてもかまいません。当社では地域貢献活動に従業員1人、年3回は参加しよう(サンサン運動)として、活動しています。**街をクリーンにして心もクリーンに。**皆さんもどうぞご協力お願いいたします!

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

7月生まれの方をご紹介します。

7/8

工事本部 工務部
(第十一すがわら号乗組員)
さいとう たかのり
斉藤 貴徳さん

7/10

工事本部 工務部 係長
(第十八すがわら丸船長)
はたやま たかひと
畑山 貴人さん

7/11

工事本部 工事部員
ひらの まさと
平野 聖人さん

7/13

工事本部 工事部員
はやし けんた
林 憲汰さん

7/15

工事本部 工事部次長
兼 松前支店長
いずみ ひとし
泉 等さん

7/20

執行役員 工事部長
兼 大船渡営業所長
わかやま あきひさ
若山 明久さん